

2023年1月25日

報道関係者各位

拓殖大学陸上競技部 監督交代のお知らせ

拓殖大学（東京都文京区・八王子市 学長 鈴木昭一）陸上競技部の監督山下拓郎は、2023年3月末日をもって監督を退任し、2023年4月1日より井上浩氏が監督、治郎丸健一氏がコーチに就任いたしますのでお知らせいたします。引き続き、皆様のご指導ご声援のほどお願い申し上げます。

【監督 井上浩氏 経歴】

1962年生まれ。大分県立中津工業高等学校、駒澤大学卒業。駒澤大学在学中に箱根駅伝4年連続出場(1区4位)、関東インカレ5000m2位・10000m2位という実績を経て、卒業後は安川電機に入社。実業団選手としてニューイヤー駅伝に2回出場。その後、大分東明高校に国語科教諭として入職し、監督として率いた男子駅伝部は全国高校駅伝12年連続21回出場(入賞5回)、女子駅伝部は8年連続10回出場(入賞1回)。



【監督就任にあたってのコメント】

この度、4月1日付で拓殖大学陸上競技部監督に就任致します。

『為せば成る為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり』これは、江戸時代、米沢藩の立て直しに成功した、上杉鷹山の言葉です。目指すはただ一つ、『箱根駅伝への復活』です。

今年卯年。拓殖大学にとっても飛躍の年にしたいものです。開拓の精神を常に意識し、部員一丸となり、勇往邁進していく覚悟です。どうぞ、よろしくお願い致します。

【コーチ 治郎丸健一氏 経歴】

1984年生まれ。由良育英高校(現鳥取中央育英高校)、駒澤大学卒業。コーチとして大分東明高校駅伝部指導の傍ら九州一周駅伝競走大会に選手として出場を経て実業団の日清食品グループに進み全日本実業団駅伝(ニューイヤー駅伝)の優勝に貢献、退職後は桜美林大学長距離プレイングコーチ、ラフィネグループ監督・コーチ。

(次郎丸健一氏のコメントについては本学ホームページをご覧ください)



ー拓殖大学陸上競技部ー

1921年創部、2021年に創部100周年を迎えた。これまで箱根駅伝に42回、全日本大学駅伝に10回出場。直近の主な大会成績は箱根駅伝(第97回/2021年/総合15位)、全日本大学駅伝(第53回/2021年/14位)。主な卒業生はロンドン五輪男子マラソン日本代表の藤原新(スズキアスリートクラブ男子マラソンヘッドコーチ)、中本健太郎(安川電機陸上部ヘッドコーチ)、MGC(2023年10月開催)ファイナリストの赤崎暁(九電工)。

以上

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】 拓殖大学 広報部広報室
電話(03)3947-7160 FAX(03)3947-7812 E-mail:web_pub@ofc.takushoku-u.ac.jp